一律 消費税5%減税 インボイス廃止

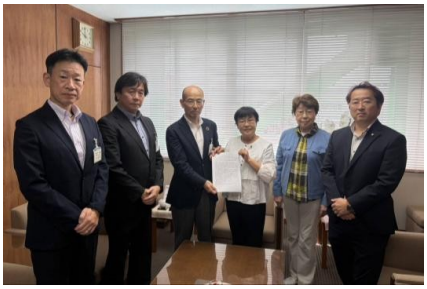
市議会議員 加増みつ子 遠山ちえ子 本田かずなり

明るい取手

2026年10月25日号
発行:日本共産党取手市委員会

◆日本共産党取手市委員会の見解を紹介します。
302-0011 茨城県取手市井野3-19-5
☎ 0297-72-7816 Fax 72-7817
https:// jcptoride.com

寄せられた市民要望もとに、6大重点・250項目の予算要望



市長あて予算要望書を副市長に提出する党議員団10月6日

日本列島各地を襲ったこの夏の豪雨災害は、物価高騰の中市民の暮らしに追い打ちをかけました。
日本共産党は、市民アンケートに寄せられた700人(10月15日現在)の切実な声をもとに、いのちと暮らしを守る市政を求め2027年度予算への要望書を市長に提出しました。
アンケートでは、暮らしや市政だけでなく、憲法と民主主義についてもご意見を伺いました。

日本共産党
2027年度取手市予算要望書提出

予算要望書本文はここから
https://jcptoride.com/3301/

いのちと暮らしを守る市政へ

(アンケートに寄せられた意見・要求の一部と要望書に反映したものの一部紹介)

災害への備え	防災で不安なことは「ライフラインの老朽化対策」約71%、「河川の氾濫・内水氾濫の防止」が62%でした。 避難所では「仮設トイレ・段ボールベッドの拡充」が76%で最多です。	排水ポンプ場の増設、防災井戸の設置、耐震補強補助の拡大を要望しました。
子育て・教育	「子どもの医療費の窓口負担ゼロ」35%「返済なしの奨学金」34%、「中学校給食費の無償化」32%が上位でした。	18歳までの医療費無料化、給食費の無償化、少人数学級を重点要望の第一に掲げています。
高齢者・福祉	「年金で利用できる介護施設の拡充」51%「介護保険料・利用料の引き下げ」47%、「後期高齢者医療保険料の引き下げ」44%の声が多くありました。	国保基金40億円を活用した国保税の引き下げなどを求めています。
開発のあり方	西口再開発でも桑原開発でも、最も多かったのは「情報公開が必要」48%、58%でした。	市民への徹底した情報公開と、市民福祉を優先する見直しを求めています。



公園等各地に設置された守谷市の防災井戸

アンケートには、暮らしの他、平和と憲法、民主主義を大切に、の声もたくさん

「9条改定に反対し、現行の平和主義を維持する」賛成は69%、反対は約9%。「軍事費の大幅な増額」反対65%、賛成は11%。「選択的夫婦別姓や同性婚の法制化」に賛成51%、反対19%です。

減税財源 大企業と富裕層から、社会保障削減するな!

「消費税は減税すべき」57%。財源には「大企業への優遇税制の見直し35%。「富裕層への課税強化」33%が多く、軍事費等不要不急の歳出削減25%と続きます。「社会保障費や公共事業の削減」は3%でした。

政治の役割は、いのちと暮らし、平和と自由・民主主義を守ること、市政と国政はつながっています。軍事費が増えれば、福祉や教育にしわ寄せが及びます。日本共産党は、皆さんと力を合わせ、いのちと暮らしを優先し、憲法を暮らしに活かす政治をめざします。

日本共産党 議会報告会行いました。

国保税引き下げ、後期高齢者支援を

10月11日、日本共産党3人の議員そろって議会報告会を行いました。行き詰まる取手駅西口や桑原開発、防災対策など、高い国保税でため込んだ40.5億円(1世帯当たり28万円)。の基金を使えば国保税引き下げ、後期高齢者支援もできる「皆で運動を起こして実現しよう」。等、活発な意見交流が行われました。

予算議会と決算議会(3月・9月)後には、議員3人そろって報告会&懇談会、6月・12月議会後は、それぞれの議員が市内各地で行っています。



報告する左から本田・加増・遠山議員 10月11日 福祉会館

- ご意見をお寄せください

「わからない」「もっと知りたい」というご意見も歓迎します。私たちの政策の出発点は、市民の皆さんの声です。

日本共産党取手市委員会
☎ 0297-72-7816
Fax 0297-72-7817

臨時国会の焦点　高市暴走政権に対峙し、国民との共同広げる　日本共産党



「高市政権めっちゃヤバい」「憲法改悪絶対反対」とペンライトやプラカードを掲げコールする人たち＝19 日国会正門前 10 月 20 日しんぶん赤旗より

物価高騰が国民の暮らしを直撃するなか、開催中の臨時国会。「積極財政」を掲げる高市早苗首相は、大企業支援と大軍拡をあらわにしています。

飲食料品を対象に、消費税減税１％を打ち出していますが、２年後に増税が家計を直撃し大打撃となるなど問題も山積みです。一方高市政権は民意を削る衆院比例定数削減法案を強行しようとしています。

「高市政権めっちゃヤバい！主権者は私たち！10・19大行動」

国会前に 1.２万人、取手・全国 320 か所

取手では、１９日夕方６時から７時までの１時間、駅西口で行われ（主催「戦争させない・９条壊すな！取手行動・ペンライトアクション実行委員会」）60 人が軍拡・戦争反対！憲法守れの連帯の輪を広げようと参加しました。

広がる戦争反対、平和を守れの声

「戦争はだめ、僕たちが１番先に行かされる。みんなで平和守りましょう」と高校生と中学生も、初めて参加した 20 代女性も「戦争反対の声もっと広げましょう」とマイクを握って訴えました。運動に若い世代の参加と共感が広がっています。



みんなで戦争反対の声広げようと集まった市民ら 19 日取手駅西口

持ち時間は短くても、切り込みは深く。

日本共産党の国会での質疑時間は、議席が限られるため多くありません。だからこそ一問一問を大切に、暮らしと平和にかかわる核心に鋭く切り込みます。

物価高、消費税、政治とカネ、大軍拡、臨時国会で、あなたの願いを政治に届けます。

- **消費税減税とインボイス廃止**

２年限定の食料品限定１％減税ではなく、大企業や富裕層への課税を財源に消費税一律 5%への減税とインボイス廃止を求めます。

- **「政治とカネ」問題の解明**

裏金議員の閣僚起用や相次ぐ疑惑、「予算カット」発言大臣の辞任は当然として、維新新閣僚の過去の有罪歴等、首相の責任と追及を曖昧にしません。

- **議員定数削減への反対**

少数派の声を国会から締め出し、民意を切り捨てる議会制民主主義の破壊に断固反対・撤回を要求します。

- **大軍拡と平和への逆行阻止**

安保３文書改定による軍事費拡大や非核三原則の見直し、国民監視につながるスパイ防止法に反対。軍事対軍事の力の支配を振りかざすアメリカ言いなりを質し、外交の力による平和を求めます。

- **物価高・災害・気候危機対策**

暮らしと被災者支援に重点を置き、大企業の利潤最優先の結果がもたらした気候危機の打開へ本気の議論を進めます。

- **首相の国会出席と徹底審議**

憲法 63 条に基づき首相出席のもとでの徹底審議を求め、国会から逃げる高市首相の姿勢を追及。熟議を尽くす国会審議を求めます。

“自由と平和”語りうたう Jcp とりでふれあいフェスタ迫る

１１月１５日（日）ウェルネスパーク　10：00～14：20

迫るフェスタ舞台等企画がほぼ確定。一部ステージ企画を紹介します。

10：00 オープニング（トランペット）
加増・遠山・本田議員ら挨拶

10：30【語ろう自由と平和】　暮らしと経済、今、政治は
宮本徹元衆院議員　縦横に語り会場質問にもお応えします。
各種模擬店・特設ブースは１１時過ぎ（予定）に開店。

11：20【歌おう自由と平和】
11 時過ぎから、お昼休みとジャンケン大会をはさみ 14：20 迄予定

＜出演者（グループ）紹介＞

民謡：唄と尺八民謡歌手としては素人離れの評判、尺八奏者は取手民謡大会優勝者とその師匠の協演。**いきいきバンド「バーズ」**歌う旅人ＲＹＯ、風と光コンサートの名の演奏会を続ける取手の音楽家。（仮称）**ふれあいバンド**アコーディオン、ギター、ベース、ピアノ、ボーカルに今回トランペット奏者も。**トランペット奏者コウスケ**舞台音楽の作曲等、音楽芸術活動を行う異色の取手出身音楽家。本名鈴木光介。**和太鼓**ふるき若かりし頃の経験を活かし、今回やや若手を加え専門家の指導で猛練習 jcp 取手後援会メンバー。**太極拳**　心身ともに健康づくり、練習の成果を教室の先生中心に披露していただきます。**あおぞらうたごえ喫茶**楽器・歌声サークルそしてみんなで、懐かしい故郷・平和の歌を響かせ、フィナーレはトランペットとともに・・・・・どなた様もお気軽にお出かけ下さい。

主催　jcp とりでふれあいフェスタ実行委員会

「再開発と図書館」シリーズ⑦

「再生」への困難続く“リボンとりで”

遠藤俊夫
（取手駅前開発を考える会代表）

市の再開発事業には苦い教訓がある。１９８５（昭和６０）年、１０３億円余（市の負担２３億円＋地方債１８億９５００万円）を投入して、西口交通広場（以前の広場）・ペデストリアンデッキと共に８階建ての商業ビルを建設した。これを「取手とうきゅう」が一括借り上げて開店したが。２０１０（平成２２）年閉店、東急は撤退。以来、駅前の空洞化は拍車がかかってしまった。その後地権者らは「再生（リボーン＝re-born）」の期待を込めて“リボンとりで”の愛称で再開した（朝日新聞記事）が、いまだ６～８階は空き家のままだ。

つくばエクスプレス（ＴＸ）開業で取手駅の乗降者数は減少、人口も減少傾向が止まらない。低迷する経済環境などを考えると、「駅前活性化」は夢のまた夢ではないのか。市は既成の固定観念を捨てて、新しい発想で再開発に取り組むべきではないのか。”リボンとりで“の再生も一つの選択肢だと思う。


写真奥左に駅ビル、右にリボンビル。手前左側が再開発予定区域


西口前治助坂から見るリボンビル。（取手市施行の旧東急ビル）